



令和 8 年度 水防演習 概要報告書

日時 令和 8 年 5 月 31 日（日）

会場 相模三川公園

海老名市上郷 2 丁目地先他

主催 神奈川県・大和市・海老名市・座間市・綾瀬市

令和8年5月31日(日)、海老名市上郷2丁目地先(相模三川公園)において、神奈川県、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市の主催により、「令和8年度 水防演習」を開催しました。

演習は、水害から県民の生命や財産を守るため、水防の重要性や水防に関する基本的な考え方の普及と水防工法を実演することにより、消防団や防災機関等の水防活動に従事する者の技術の向上及び水防意識の高揚を図るとともに、県民の水防や避難に対する理解を深め広く協力を求めることを目的として開催したものです。

演習テーマ 「洪水から守ろうみんなの地域」

- 演習重点
- ★ 有効な水防技術の習得及び次世代への継承
 - ★ 洪水時における関係機関の有機的な連携
 - ★ 県民の水防や避難に対する理解と積極的な参加
 - ★ 河川の増水に伴い取り残された孤立者の救助
 - ★ タイムラインに基づく防災行動

当日は、全33機関 約660名が演習に参加するとともに、招待者、一般見学者を合わせると総勢約2,600名となりました。

1. 開 会 式



主催者あいさつ
(県知事)



主催者あいさつ
(4市代表 大和市長)



来賓あいさつ
(県議会議長)



訓示
(県・県土整備局長)



演習開始宣言(県・東部センター所長)



左から
綾瀬市長 海老名市長 県知事 大和市長 座間市長

2. 初期水防活動

台風の接近に伴い、相模川が増水したとの想定のもと、初期水防活動として警報車による警報訓練を実施しました。

城山ダム放流警報車による警報



広域水道企業団警報車による警報



水防警報発令

消防団出動命令



消防団出動

自衛隊出動

東部センター災害対策連絡協議会による
資材搬入



3. 水防工法演習＜準備工＞

海老名市、大和市、座間市、綾瀬市の消防団、陸上自衛隊および東部センター災害対策連絡協議会が水防工法の演習を行いました。

土のう拵え工

杭拵え工



積み土のう工やシート張り工等、様々な水防工法に用いる土のうを製作する工法

シート張り工やT型マット張り工等、
様々な水防工法に用いる杭を製作する工法

大型土のう拵え工



積み土のう工と同様に、洪水によって堤防が沈下した場合や水が堤防を越える恐れがあるときに用いる工法。大規模な越水対策として有効

3. 水防工法演習

<洗掘防止工>シート張り工、T型マット張り工



堤防の川側の斜面が崩れだしたり、
堤防の透水・漏水を防ぐ工法

シート張り工の改良型で、ロープ等を結びつ
ける箇所が少ない等、施工が比較的簡易

<内水対策>マンホール噴出防止工



下水管の水が逆流してマンホールの蓋が浮き上がるのを防ぐ工法。マンホール周辺に丸く土嚢を積み上げることで水圧で漏水を防ぐ。

<越水防止工法> 積み土のう工

積み土のう工(杭省略型)

水マット工



洪水によって堤防が沈下した場合や
水が堤防を越える恐れがあるときに用いる工法

積み土のう工の1種で、杭が
打込めない場所でも有効

特殊なマットに水を注入し、越水す
る恐れがある時に用いる工法

4. 水防工法視察

各市の消防団等が実施した水防工法を総本部役員が視察しました。



5. 避難支援訓練

相模川が氾濫危険水位を超過したとの想定で、神奈川県から海老名市へのホットラインによる河川状況の伝達や、海老名市による避難指示発令等の避難支援訓練を実施しました。

<情報収集訓練(県防災ヘリコプター)>



6. 炊き出し訓練

陸上自衛隊の炊事車により、カレーライス900食の炊き出しを行い、海老名市上郷自治会の協力のもと、一般見学者に配食を行いました。



7. 救出救助訓練

大和市消防本部、海老名市消防本部、座間市消防本部、綾瀬市消防本部、陸上自衛隊、神奈川県警察本部、海老名警察署、が連携し、河川の増水で中州に取り残された要救助者や、がけ崩れによる埋没車両の要救助者を想定した、救出救助訓練を実施しました。

<救出救助訓練の開始>開始宣言



<中洲からの救助>ロープ救助(消防)

ボート救助(消防)

ボート救助(自衛隊)



<応急救護所、現場指揮所及び現地合同調整所の設置>

ドローンによる状況把握



応急救護所(エアテント)設置(消防)



現場指揮所設置(消防)



ヘリコプターによるホスト救助(県警)



<埋没車両からの救助>

出動(消防・県警・自衛隊)



土留め活動(消防)



車両解体(県警)



重機による土砂撤去(陸上自衛隊)



救出～搬送(消防・県警)





8. 排水ポンプ車出動要請訓練

厚木土木事務所東部センターが国土交通省京浜河川事務所の排水ポンプ車を要請し、東部センター災害対策連絡協議会の協力のもと、排水準備を行う訓練を実施しました。



9. ライフライン復旧訓練

台風による被害で避難所が停電し、更に電話が不通になったことを想定して、東京電力パワーグリッド(株)、NTT東日本(株)及び(株)ドコモに、ライフラインの仮復旧を要請し、県知事が座間市長及び綾瀬市長と通話確認を行いました。

<各企業の復旧活動(各隊出動)>



<各企業の復旧活動(各隊復旧作業状況)>



<通信復旧確認> (左から神奈川県知事、座間市長、綾瀬市長)



10. 展示・体験コーナー

国土交通省京浜河川事務所、相模川水系広域ダム管理事務所、陸上自衛隊、神奈川県警察、東京電力パワーグリッド(株)、NTT東日本(株)、(株)ドコモ、神奈川県内広域水道企業団、城山ダム管理事務所、大和市・海老名市・座間市・綾瀬市、神奈川県の計14団体が防災等に関連する車両や資機材、パネル等を展示し、水防や避難に対する普及啓発を図りました。

国土交通省 京浜河川事務所（降雨体験車）



陸上自衛隊・自衛隊神奈川地方協力本部（自走架柱橋 他）



神奈川県警察（緊急援助隊服 他）

東京電力パワーグリッド(株)（電気自動車からの給電デモンストレーション 他）



NTT東日本(株)（災害伝言ダイヤル 他）



(株)ドコモ (災害対策資器材 他)

神奈川県内広域水道企業団



相模川水系広域ダム管理事務所 (VRゴーグル 他)



大和市・海老名市・座間市・綾瀬市(消防団普及啓発)

城山ダム管理事務所 (パネル)



神奈川県(マイ・タイムラインクイズ・土のう積み体験 他)



神奈川県(トイレカー)



水防活動終了報告(消防団)



閉会式



演習終了報告(県・東部センター所長)

講評(海老名市長)



○今回の演習では、各市の重要水防箇所に対応した水防工法に加え、杭省略型積み土のう工や内水対策などの地域の特性を踏まえた新たな水防工法を実演しました。

また、展示・体験コーナーでは、降雨体験車、マイ・タイムラインクイズ、土のう積み体験など、水防や避難についての知識を普及啓発する新たな取組が充実し、来場いただいた多くの方々にご参加いただきました。

さらに、多くの県民にご覧いただけるよう、演習の様子をライブ配信しました。(視聴回数 約300回)

○また、今回の開催会場である相模川では、令和元年東日本台風の際、城山ダムの緊急放流を経験したこともあり、水防演習を通じて、県、市、自衛隊、警察及び民間事業者が連携した水防体制の確認・強化が図られ、大変意義のある演習となりました。

○演習の実施にあたっては、消防団及び関係機関の皆様、に、日ごろの訓練の成果を十分に発揮していただきました。今後とも、技術の研鑽や訓練を積み重ね、水害発生時には力を発揮して頂きたいと考えています。

○最後に、御尽力いただいた関係機関の皆様、に厚くお礼申し上げます

『令和8年度 水防演習』に参加いただいた関係機関

大和市消防団、海老名市消防団、座間市消防団、綾瀬市消防団、海老名市上郷自治会、
東部センター災害対策連絡協議会、神奈川県内広域水道企業団、
東京電力パワーグリッド(株)平塚支社、NTT東日本(株)神奈川事業部、(株)ドコモ、
国土交通省京浜河川事務所、相模川水系広域ダム管理事務所、横浜地方気象台、
陸上自衛隊(東部方面混成団、第31普通科連隊、第4施設群本部)、自衛隊神奈川地方協力本部
神奈川県警察(危機管理対策課、第一機動隊、警備課航空隊、海老名警察署)、
関東管区警察局(神奈川県情報通信部機動通信課)